

HIRAKU（アーティスト村）基本概要

【アーティスト村創出事業について】

横須賀らしい谷戸コミュニティの新しい形づくりのため、市営住宅跡地等を活用し、谷戸地域にアーティストを誘致及び制作拠点の整備をすることで、芸術を通じた地域との様々な交流活動により、個性豊かな地域コミュニティづくりを目指すものです。

【主な活動】

- ①市民等対象（市外含む）のワークショップ
- ②地元小中学校などの総合学習
- ③市民対象のコミュニティセンター講座
- ④横須賀美術館でのワークショップ及び展示会等
- ⑤県立横須賀高校のスーパーサイエンスハイスクール事業（SSH）講師
- ⑥地域活性化を図るためのイベント企画、開催（ホテル観賞会、HIRAKU 祭等）

【施設概要】

名 称 HIRAKU（アーティスト村）

旧市営温泉谷戸住宅（2018（平成30）年8月27日付 市営住宅廃止）

所在地 横須賀市田浦泉町28番地

敷地面積 5062.65 m²

建物概要 7棟18戸 計522 m²（11棟27戸解体済み）

昭和34年、35年竣工。平屋長屋形式1戸約29 m²

コンクリートブロック造 2棟9戸

木造 5棟9戸

【居住・関係アーティスト】

	誘致年度	入居月
薬王寺太一（土器作家）	平成30年度	平成30年12月1日～
山本愛子（美術家 染物）	平成31（令和元）年度	令和2年5月1日～令和6年7月
折原みと（漫画家・小説家）	令和2年度	令和3年4月～
水戸部春菜（平面作家）	令和3年度	令和4年2月3日～
鈴木晴恵（美術家 版画）	令和6年度	令和7年1月～（予定）

Suzuki Harue
鈴木 晴絵

美術家（版画・インスタレーション）
26歳



女子美術大学博士前期課程版画研究領域を修了。
銅版画などの版画技法、ドローイングやコラージュなど、様々な技法を使い創作活動を行っている。近年は植物やコットンを素材にした紙漉きを行い、作品に取り入れている。ギャラリーや美術館でのグループ展・個展の他に、様々な地域に根差したアートプロジェクトに参加しており、運営にも積極的に携わっている。

「HIRAKU」の場所の特性を活かしながら、自身の持つ知識や技術を使って地域の方と交流しワークショップ等を企画していく予定である。



（経歴）

- 1998年 神奈川県生まれ
- 2021年 女子美術大学 洋画専攻 卒業
- 2024年 女子美術大学 博士前期課程 版画研究領域 卒業

（展示・受賞歴等）

- 2019年 「鳥羽うみアートプロジェクト」参加（三重県鳥羽市安楽島）
- 2020年 「第45回全国大学版画展」選出（町田版画美術館/東京）
- 2021年 「第44回五美術連合卒業・修了制作展」（国立新美術館/東京）
「女子美術大学卒業・修了展」優秀賞・買い上げ賞（女子美術大学）
企画展「1945×2021 止まった時代の主人公たち」（無言館/長野）
「TOBA artproject2021 お寺覧会」（三重県鳥羽市安楽島）
3人展「Re:MIX展」（女子美術大学）
個展「Re:MIX展」（Gallery N.）
- 2022年 「JOSHIBISION2021」選出（東京都美術館/東京）
- 2023年 2人展「枠の中と外」（女子美術大学）
第48回全国大学版画展 選出、優秀賞（上田市立美術館/長野）
個展「あなたのための森」（ブックカフェ/東京）
- 2024年 「第47回五美術連合卒業・修了制作展」（国立新美術館/東京）
「女子美術大学卒業・修了制作展」買い上げ賞・福沢一郎賞・美術館奨賞（女子美術大学）
「6人のPrinters」（弘重ギャラリー/東京）
「ART AWARD TOKYO MARUNOUCHI 2024」（行幸地下ギャラリー/東京）
「紙愛づるものたち」（gallery 檜B・C/東京）
個展「STARS」（ART55プロジェクト/東京）
「CAF賞2024 入選作品展覧会」最優秀賞（代官山サイドフォーラム/東京）



OHIRAKU (アーティスト村) 位置図



OHIRAKU (アーティスト村) 現地図

